

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>5. 東神戸 107 号鉄扉</p> <p>東灘区青木の沿岸部にある防潮鉄扉については、南海トラフ対策のために、既設の鉄扉から新設の鉄扉への切り替え計画が平成 29 年から進み、昨年 5 月に既設鉄扉を撤去したものの、新設鉄扉の工事が遅延したため、9 月 4 日に発生した台風 21 号の高潮の影響により青木南地区に浸水被害が発生した。この台風により、気象庁観測の最高潮位である海拔 2.33m を大幅に上回る海拔 3m 超の想定外の高潮が発生した可能性があるものの、当時の土のうの対応にも課題があるが、今回取り上げる問題は、新設の鉄扉の閉鎖を誰が担当するのか地元地域に情報共有されていなかったことだ。これまで災害時には、土日祝や夜間を除き、みなと総局海岸防災部に連絡をし、みなと総局が消防団から構成されている東灘区防災自治会という組織に指示をすることになっていたが、土日祝や夜間はどうか。神戸市の地域防災計画によると、夜間や休日等における津波時には、地元の防災組織や事業者、関連民間企業、みなと総局職員等が連携して閉鎖する体制を確立するとされている。地域の防災は地域住民の安心の共有が基本と考えるが、見解を伺いたい。</p>	<p>岡 口 副市長</p>	<p>議員ご指摘の東神戸 107 号鉄扉は、平成 29 年度から津波対策工事を進めており、既存の鉄扉を撤去の上、鉄扉を新設する工事を実施していた。</p> <p>台風 21 号が上陸した 9 月時点では、鉄扉が撤去された状況であったが、施工にあたっては、施工業者において常に風水害対策等に努めることとしており、当該地では、高潮の設計高潮位 (TP+2.8m) を確保できるよう、土のう積みによる対策 (TP+2.9m) を実施した。しかし、設計高潮位を上回る高潮 (TP+3.0m 超) により、土のうが流され、堤内地の一部に浸水がみられたものである。</p> <p>なお、東神戸 107 号鉄扉は、10 月末に設置完了し、3 月には電動化も完了し、先日の 16 日には、防災福祉コミュニティなど、約 60 名もの地域の方にも参加いただき閉鎖訓練を実施したところである。</p> <p>東神戸 107 号鉄扉の運用は、これまで東灘区防災自治会に委託しており、台風等の災害時の開閉操作のほか、日常点検や清掃を含めて作業を行っていただいている。この団体は、昭和 25 年に襲来したジェーン台風による被災を機に結成された、地域住民により構成された防災組織である。約 70 年の長期にわたり、継続して地域の防災活動に貢献していただいている。</p> <p>高潮などに伴う鉄扉の閉鎖が必要となった場合、防災自治会に対し、神戸市から閉鎖指令を行い、同団体の現地操作者が、指令に基づく鉄扉の操作を行うことになっている。</p> <p>また、夜間休日における津波発生時は、防災自治会をはじめ、近隣に在住の職員等も連携の上、閉鎖を行うものとしている。</p> <p>今後の閉鎖体制については、台風 21 号による被災を受け、地域住民との連携強化、防災情報の共有を図っていくため、みなと総局、消防署、消防団、防災福祉コミュニティなどの地域団体が一体となった、より充実した防災体制の構築に取り組んで参りたい。</p> <p>具体的には、鉄扉閉鎖の業務について、指示系統をより明確にするために消防団がおこなうことにしたいと考えている。</p>

平成 31 年 3 月 20 日 本会議 議事要旨

質疑者 北川 道夫 議員

会派名 公明党

(みなと総局)

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>(要望) 防潮鉄扉については、まだまだ市民の理解が得られていないので、ぜひ安心できる地域防災体制を整えていただきたい。</p>		<p>また、毎年行う鉄扉の閉鎖訓練等において、地域住民の積極的な参加を得て、地域と協力した防災体制を強化するとともに、鉄扉の遠隔操作化も着実に進めていきたいと考える。地域住民の皆様にご安心いただけるようさらに努めて参りたい。</p>